

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

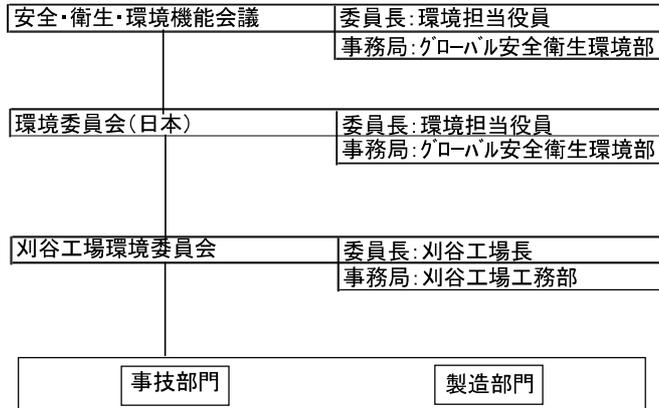
(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和 2年 6月 29日	
愛知県知事 殿	
提出者	
住所 愛知県刈谷市豊田町1丁目1番地	
氏名 トヨタ紡織株式会社	
取締役社長 沼 毅	
電話番号 0566-23-6611	
<p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	トヨタ紡織株式会社 刈谷工場
事業場の所在地	愛知県刈谷市豊田町1丁目1番地
計画期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	31：輸送用機械器具製造業
② 事業の規模	42,851百万円
③ 従業員数	1,983人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>燃え殻：中間処理業者に委託し溶融、残渣は路盤材として再資源化。                  汚泥：社内脱水処理後、中間処理業者に委託し焼却、残渣は路盤材として再資源化。                  廃油、廃アルカリ、汚泥+廃プラスチック類+金属くず+引火性廃油：中間処理業者に委託して焼却熱回収、残渣セメント原料等再資源化。                  廃プラスチック、廃プラスチック類+金属くず：中間処理業者に委託して、RPF燃料として再資源化。                  木くず：中間処理業者に委託して、チップとして再資源化。                  ガラス・コンクリート・陶器くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず+金属くず、汚泥+金属くず：中間処理業者に委託して、破碎、選別、再資源化。</p>

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現

②計

別紙1の通り

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)  
有価物、一般廃棄物を含めて76分類に分別  
種類単位で置き場を設定し、分別回収に努めている。

②計画

(今後分別予定する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)  
現在有価物、一般廃棄物を含めて76分類に分別実施。

## (第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	179 t	t
	(これまでに実施した取組) 成形不良品（PP）の粉砕による再利用		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	182 t	t
	(今後実施する予定の取組) 金属付樹脂製品解体実施による再生率向上		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	2,250 t	t
(これまでに実施した取組) 排水処理汚泥の脱水			
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	2,300 t	t
(今後実施する予定の取組) 中継槽（油水分離装置）更新			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	<b>【前年度（                      年度）実績】</b>		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量 (これまでに実施した取組)	t	t
②計画	<b>【目標】</b>		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組)	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

③委託	<b>別紙2-1の通り</b>			t
				t
				t
				t
				t
				t

	【目録】
	t
	t
	t
	t
	t
※事務処理欄	

別紙2-2の通り

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項							
①現状	【前年度(令和元年度)実績】						
	産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
	排出量	3 t	2250 t	105 t	1 t	658 t	0.4 t
	産業廃棄物の種類	木くず	汚泥＋金属くず	廃プラスチック類＋金属くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず＋金属くず	汚泥＋廃プラスチック類＋金属くず＋引火性廃油	
	排出量	5 t	0.1 t	101 t	0.2 t	0.08 t	
	(これまでに実施した取組) *廃棄物低減に関して、ISO14001環境マネジメントシステムを運用する中で各部門の方針の中に取り入れ、計画的に削減活動を推進している。 ・工程内不良低減・歩留まり向上など。						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
	排出量	2 t	2300 t	90 t	1 t	630 t	0.4 t
	産業廃棄物の種類	木くず	汚泥＋金属くず	廃プラスチック類＋金属くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず＋金属くず	汚泥＋廃プラスチック類＋金属くず＋引火性廃油	
	排出量	4 t	0.1 t	95 t	0.2 t	0.08 t	
	(今後実施する予定の取組) ・事業所の全部署のコードを登録発行し、各部署から排出される廃棄物種類及び重量の見える化及び改善箇所の明確化を図る ・廃棄物低減に関して、ISO14001環境マネジメントシステムを運用する中で各部門の方針の中に取り入れ、計画的に削減活動を推進している。 ・現在排出されている廃液を再利用できる洗浄液に変更する。 ・工程内不良低減・歩留まり向上など。						

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度(令和元年度)実績】							
産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	
全処理委託量	3 t	80 t	105 t	1 t	658 t	0.4 t	
優良認定処理業者への処理委託量	3 t	80 t	105 t	1 t	658 t	0.4 t	
再生利用業者への処理委託量	3 t	80 t	105 t	1 t	658 t	0.4 t	
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	105 t	1 t	0 t	0 t	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	3 t	62 t	0 t	0 t	614 t	0.4 t	
産業廃棄物の種類	木くず	汚泥+金属くず	廃プラスチック類+金属くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず+金属くず	汚泥+廃プラスチック類+金属くず+引火性廃油		
全処理委託量	5 t	0.1 t	101 t	0.2 t	0.08 t		
優良認定処理業者への処理委託量	5 t	0 t	95 t	0 t	0.08 t		
再生利用業者への処理委託量	5 t	0.1 t	101 t	0.2 t	0.08 t		
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t		
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t		
(これまでに実施した取組) ・廃プラスチック類(成形不良等)の社内再生量増・・・樹脂粉碎材再利用 ・廃プラスチック類(不織布)の社内原材料化量の拡大 ・廃プラスチック類(成形不良品等)の利材売却化							

①現状

②計画	<b>【目標】</b>						
	産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
	全処理委託量	2 t	75 t	90 t	1 t	630 t	0.4 t
	優良認定処理業者への処理委託量	2 t	75 t	90 t	1 t	630 t	0.4 t
	再生利用業者への処理委託量	2 t	75 t	90 t	1 t	630 t	0.4 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	90 t	1 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	2 t	58 t	0 t	0 t	587 t	0.4 t
	産業廃棄物の種類	木くず	汚泥+金属くず	廃プラスチック類+金属くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず+金属くず	汚泥+廃プラスチック類+金属くず+引火性廃油	
	全処理委託量	4 t	0.1 t	95 t	0.2 t	0.08 t	
	優良認定処理業者への処理委託量	4 t	0 t	89 t	0 t	0.08 t	
	再生利用業者への処理委託量	4 t	0.1 t	95 t	0.2 t	0.08 t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・廃プラスチック類(成形不良等)の社内再生量増・・・樹脂粉碎材再利用</li> <li>・廃プラスチック類(不織布)の社内原材料化量の拡大継続</li> <li>・廃プラスチック類(成形不良品等)の利材売却化推進</li> <li>・利材可能洗浄廃液への変更</li> </ul>						